



①屋根からの雪おろし



②機械で排雪できないため人力で行いました



③道路へかき出し



④除雪車で排雪しました

白石消防署七ヶ宿出張所
所長 永徳 公雄さん

大変なことだと感じました。高齢者にとっては重労働だと思います。今後とも協力していきたいと思



干蒲地区
齋藤 勇さん

今年は何年の倍の積雪があり、屋根の軒先まで積もったのははじめて。週末には家族が家の除雪作業にきています。



干蒲地区
区長 秋葉 久義さん

除雪ボランティアについて、高齢者1人暮らし世帯を対象に受け入れ体制についてみんなで話し合いをしました。除雪作業では、「安全確保できない場合は、屋根には登らない」「危険なところは機械使って除雪を行う」など確認をしました。



除雪作業前の打ち合わせ

宮城県大河原地方振興事務所
農業農村整備部 計画調整班
班長 大内 孝喜さん

5年前にも除雪ボランティアをさせていただきました。県内の各事務所より30名弱の職員が参加し、遠くは石巻市からも参加しました。



仙南農業協同組合七ヶ宿支店
支店長 米谷 雄二さん

農協として老人宅への除雪訪問など地域に協力できることを考えていました。今回のボランティアに協力できてよかったと感じました。



多くの方々にご支援をいただきました ボランティアによる除排雪事業を実施!

平成18年1月以来、5年ぶりの豪雪となり、町でも1月21日に豪雪対策本部を設置し、雪情報の収集と道路の除排雪に万全を期するほか、住民の皆様の生活の安全確保と雪害防止に努めてきました。

そのような中で、2月6日に除雪ボランティアを受入、除排雪のお手伝いをしていただきました。当日は、宮城県職員によるボランティアグループ(NNスノーバスターズ)を始め、仙南地域広域消防職員のグループ、みやぎ仙南農協の職員のグループ、一般の企業及び個人の方々に加え、町職員のボランティアを含め、総勢約150人が、干蒲・湯原・峠田の3地区の主に高齢者世帯の方々の除排雪作業を行いました。



▼ボランティア集合

